

お知らせ

九月例会

- ・期日 立教179年9月25日
- ・時間 15時半受付 16時開始
- ・場所 教庁4階講堂

学生層育成者講習会

日程・会場案内

【教区】

- ・佐賀 9月2日13時〜 教務支庁
- ・福岡 9月4日10時〜 教務支庁

【直属】

- ・高知 9月18日12時〜 大教会

報告

七月例会

去る7月25日、東右4棟4階講堂に於いて「七月例会」を開催。出席は35教区、84直属。

各地の動き

【教区学生層育成者講習会】

- ・石川 7月2日 教務支庁 40名 木村委員出向
- ・高知 7月2日 教務支庁 35名 柏原委員出向
- ・東京 7月3日 教務支庁 28名 泉委員出向
- ・山口 7月10日 周海分教会 130名 濱委員出向

【直属学生層育成者講習会】

- ・岐美 7月22日 大教会 300名 木村委員出向

人事

【教区学生担当委員長辞令交付】

《立教179年7月25日付》

・渡邊悦朗（山梨教区）

【直属学生担当委員長辞令交付】

《立教179年7月25日付》

・鈴木善晴（蒲生・尾知）

業務記録

《立教179年7月16日〜8月15日》

- 7月20日 事務局連絡会
- 22日 『Happist』納品
- 23日 『Happist』梱包
- 24日 研修会チーム会議
- 担当者活動部部会
- 25日 委員会
- 例会
- 広報室会議
- 教祖百三十年祭 こどもおぢばがえり学生ひのきしん隊（〜8月6日）
- 8月1日 出版部部会
- 6日 事務局連絡会
- 6日 天理教学生会
- 夏期リーダーの集い（〜8日）
- 7日 学修高校の部
- スタッフ直前研修会（〜8日）
- 9日 学修高校の部（〜15日）

心に感動を、喜び合える学修へ



今年も「学生生徒修養会 高校の部」が八月九日より

十五日まで開催され、全国から千余名の受講生がおぢばに帰り集い、「教祖のおひざもとで教理を学び、合宿生活を通して信仰の喜びを味わい、次代を担うよう、よくに育つ」ことを目標に、感動の一週間を過ごしました。

今回私は、十五母屋寮（二回生・三年生男子寮）の寮長を務めさせていただいたのですが、こんな心温まる出来事がありました。

ある受講生が大学受験の関係から、一足早く退寮、帰宅することになったのです。すると一人のスタッフから、「当人には内緒で、全員で見送ってはどうか」との提案が。私たちは「作戦」と称し、その準備を進め

ることになりました。

当日、彼は二十三時天理駅発の夜行バスに乗るため班員に別れを告げ、私たち事務所スタッフに見送られ、寮北側駐車場に待機するワゴン車に乗り込もうとしました。と、その時です。彼を担当するカウンセラーが少し離れた所から、彼の名前を大声で呼びました。驚き振り返った彼が見たものは、寮の二・三階北側の窓から一斉に顔を出す、約百名の仲間。そして、カウンセラーの「せーの！」の掛け声で「いってらっしゃい!!」と送り出してくれたのです。続いて、「入試がんばれよ!」「また会おうな!」と口々に叫んでくれます。彼はあふれる涙を拭いながら「ありがとう!」と応え、深々と頭を下げました。その光景はまるで青春ドラマのよう。私も込み上げるものを抑え切れず、思わず目頭を熱くしま

出版部 委員

泉 裕一

した。翌朝、彼の父親から「息子が大変感激して帰ってきた」との電話を頂き、その出来事をお伝えしたところ、しばらく沈黙の後、声を詰まらせながら「ありがとうございました」と仰ってくださいました。

「喜ばさずには一人も帰されん」。今回の出来事は、場所・時・人がたまたま重なり合っただけで、他人から見れば何でもないことかも知れません。しかし、一人のため寮が一丸となって「作戦」を進める中には、「何とか喜んで帰ってもらいたい」という熱い思いが凝縮していたに違いないのです。

受講生とスタッフ、そして親御さんや教会の方も感動し、喜び合える学修。来年も多くの高校生に受講してもらい、感動の瞬間を味わっていただきたいと思います。

立教179年 学生担当委員会 活動方針 『次代を担うようぼくへと丹精しよう』

立教179年 学生生徒修養会 高校の部

受講生データ

修了者総数 1015名

男子・・・445名（44％） 女子・・・570名（56％）

■学年別 ()は昨年

	男	女	合計
1年生	153名(188)	209名(229)	362名(417)
2年生	161名(132)	198名(187)	359名(319)
3年生	130名(179)	160名(182)	290名(361)
4年生	1名(0)	3名(1)	4名(1)

■回生別 ()は昨年

	男	女	合計
1回生	249名(289)	323名(313)	572名(602)
2回生	127名(131)	159名(172)	286名(303)
3回生	69名(79)	88名(114)	157名(193)

保護者立場別

	男	女	合計
教会長	165名	209名	374名(37%)
布教所長	23名	23名	46名(5%)
教会長後継者	10名	8名	18名(2%)
布教所長後継者	2名	8名	10名(1%)
教人	4名	8名	12名(1%)
ようぼく	187名	233名	420名(41%)
信者	24名	45名	69名(7%)
未信者	27名	32名	59名(6%)
未記入	3名	4名	7名(1%)



立教百七十九年

学生生徒修養会 高校の部

開催報告

今年も真夏の親里において、「学生生徒修養会 高校の部」が八月九日より十五日まで開催されました。今年は一〇一五名の受講生が集まり、五九五名のスタッフが世話取りに当たりました。

八日の係員結団式において真柱様より、「それぞれ自分の与った役割を精一杯につとめて頂きたいと思います。一人ひとりが精一杯につとめるところに、有意義な期間になると思うのであります。受講した生徒達が、来る前よりも少しでも教えを深く理解して胸に治めて、それぞれの今後の人生の中でそれを活かしていくてくれるように、そしてまた、期間中、事故なく最後まで無事修了することができるよう、心を揃えておつとめ頂きたい」とお言葉をいただきました。

九日、不安と緊張の中、集まった受講生の班には、男女一人ずつの、兄・姉代わりとなるカウンセラーが付き、各寮でウォーミングアップやオリエンテーション等を行いました。その後、全受講生が集まり行われた開講式において、学生担当常駐西浦忠一先生から、「学修での一週間を通じて、教えをしっかりと学び、実践を通してお道の素晴らしさ、教祖の御心を学び、人様をたすけさせていただきたいというたすけ心を養えるよう頑張ってもらいたい」と激励くださいました。

受講生は期間中、「レクチャー」「おてふり・おつとめ勉強」「ひのきしん」を通して教理を学び、実践しました。また、「先人の道（十三峠越え）」「神名流し」「十二下りてをどり」などの回生別の行事を通して、学修で出会った仲間たちと支え合い、たすけ合うことの大切さや喜びを感じました。特に今年の「神名流し」は、各回生の三年生全員で奈良市内にて実施しました。

観光客で賑わう中、教祖の御教えを伝えることの喜びを感じながら、笑顔で勇んでつとめることができました。

閉講式では、表統領中田善亮先生より「地元に戻ってから、生かされていることを日々親神様、教祖に感謝してもらい、そして頂戴するご恩に恩返し、ご恩報じできるようにつとめていただきたい」と述べられました。閉講式後の各寮での退寮式では、心を通わせ、共に育つ喜びを味わった受講生とカウンセラーとが別れを惜しみ、抱き合い、涙を流す感動の場面が見られました。

なお、期間中、真柱様、奥様、大亮様をはじめ、表統領中田善亮先生、内統領山澤廣昭先生、担当常駐西浦忠一先生、婦人会本部、青年会本部よりご巡視をいただきました。

係員一同、道の将来を担う高校生の育成に対しておかけいただき親心を胸に、育てる立場のお互いが、なお一層、成人の努力を積み重ねていくことを誓い合いました。

■直属別集計

番号	直属	男	女	合計
	本部	3	3	6
1	郡山	2	7	9
2	兵神	10	12	22
3	山名	3	8	11
4	船場	0	4	4
5	河原町	6	7	13
6	撫養	5	1	6
7	東	1	4	5
8	敷島	10	17	27
9	日本橋	6	0	6
10	高安	11	16	27
11	南海	1	3	4
12	芦津	7	7	14
13	高知	13	13	26
14	北	5	5	10
15	湖東	4	4	8
16	甲賀	5	11	16
17	水口	0	2	2
18	中河	11	15	26
19	名京	0	4	4
20	中和	2	2	4
21	櫻井	9	4	13
22	筑紫	1	4	5
23	越乃國	0	3	3
24	名東	2	2	4
25	麴町	1	1	2
26	日光	5	0	5
27	飾東	3	2	5
28	東本	6	19	25
29	嶽東	6	15	21
30	島ヶ原	3	1	4
31	堺	2	1	3
32	御津	5	4	9
33	城法	3	2	5
34	生野	0	2	2
35	東愛	3	5	8
36	本島	10	12	22
37	牛込	7	8	15
38	深川	3	6	9
39	浅草	3	6	9
40	西陣	1	1	2
41	大縣	0	2	2
42	神川	1	1	2
43	社	0	0	0
44	笠岡	2	4	6

番号	直属	男	女	合計
45	西宮	6	4	10
46	明和	0	3	3
47	明城	1	3	4
48	大江	0	3	3
49	旭日	1	6	7
50	池田	0	1	1
51	阪東	0	3	3
52	蒲生	2	3	5
53	日野	4	7	11
54	朝倉	7	8	15
55	佐野原	1	0	1
56	高岡	1	1	2
57	愛知	1	7	8
58	梅谷	0	1	1
59	平安	0	1	1
60	豊岡	4	7	11
61	治道	1	2	3
62	都賀	1	1	2
63	川之江	1	4	5
64	周東	2	0	2
65	南阿	4	4	8
66	香川	1	4	5
67	中紀	0	3	3
68	津	4	0	4
69	秩父	7	2	9
70	中津	2	4	6
71	岐美	4	2	6
72	熊本	2	2	4
73	那美岐	1	2	3
74	中野	4	4	8
75	秦野	5	3	8
76	立野堀	3	5	8
77	中央	2	0	2
78	南紀	5	6	11
79	北陸	6	4	10
80	東濃	2	2	4
81	岡	10	6	16
82	八木	1	1	2
83	洲本	1	4	5
84	錦江	1	1	2
85	繁藤	0	0	0
86	大森町	8	5	13
87	防府	3	4	7
88	愛豫	0	2	2
89	津輕	1	2	3

立教179年 学生生徒修養会 高校の部

教区・直属別集計

■教区別集計

教区	男	女	合計
奈良	37	46	83
京都	15	17	32
三重	18	16	34
大阪	52	50	102
兵庫	25	36	61
滋賀	8	9	17
和歌山	4	15	19
静岡	4	13	17
愛知	28	42	70
岐阜	7	7	14
山梨	3	0	3
長野	3	4	7
徳島	3	2	5
高知	5	4	9
愛媛	0	7	7
香川	7	5	12
東京	44	55	99
千葉	5	9	14
埼玉	40	41	81
群馬	5	5	10
栃木	3	0	3
神奈川	12	22	34
茨城	5	10	15
福井	3	7	10

教区	男	女	合計
石川	1	4	5
富山	1	4	5
新潟	4	7	11
岡山	18	21	39
広島	4	6	10
鳥取	1	3	4
山口	8	7	15
島根	3	4	7
大分	9	2	11
福岡	26	27	53
長崎	2	2	4
鹿児島	0	4	4
熊本	3	10	13
宮崎	4	3	7
佐賀	2	7	9
沖縄	1	1	2
北海道	9	15	24
福島	3	1	4
宮城	1	6	7
山形	2	1	3
岩手	2	3	5
青森	1	6	7
秋田	0	2	2
海外	4	2	6

教祖百三十年祭
こどもおぢばがえり
学生ひのきしん隊 報告

天理教学生会では、今年も「ぢ、ゐ、の伏せ込み」を目的とし、「教祖百三十年祭こどもおぢばがえり学生ひのきしん隊」を結成しました。今回は、七月二十五日から七月三十一日までの前期隊（参加者五五名）、七月三十日から八月六日までの後期隊（参加者五九名）の二つの期間に加え、長期間は無理でも、短期間であれば参加できるという学生を対象に、七月二十九日から八月一日までの特別期間（参加者十一名）を設けました。

学生たちは、「笑顔ひろがれ！ たすけあい」のこどもおぢばがえりのテーマのもと、おぢばに帰ってきた少年会員に喜んでもらおうと、旧大森町詰所を宿舎と

して、日中はお茶所でのわかぎおぢばひのきしんのカウンセラー、廻廊ひのきしんの二つの現場を中心に、夜間はパレード出演やお茶接待などのひのきしんに励みました。期間中は快晴が続き、立っているだけで汗がしたたるほどの猛暑でしたが、子どもたちのためと懸命にひのきしんに励み、生かされていることに感謝する心、ひのきしんの素晴らしさなど、多くの喜びを味わうことができました。

今回も、昨年に引き続き台湾からの参加者がありました。事前に台湾学生会と話し合いの場を設け、ひのきしん中の動きだけではなく、通訳や宿舎手配などのバックアップ体制も整え、特別期間での参加（参加者十五名 スタッフ八名）となり、寝食を共にしてひのきしんに励みました。学生たちは会話に悪戦苦闘しながらも、「子供たちを楽しませたい」と



いう同じ思いのもと、ひのきしんを通して親睦を深めました。

参加した学生たちは、おぢばで出会い共に汗を流すことができたかけがえのない友との別れを惜しみながら、それぞれに感じ学んだことを胸に国々所々へと帰っていきました。

番号	直属	男	女	合計
90	阿羽	0	0	0
91	伊野	1	0	1
92	磐城平	0	1	1
93	西海	5	8	13
94	新潟	3	2	5
95	中根	0	1	1
96	肥長	0	0	0
97	名古屋	0	1	1
98	奈良	0	0	0
99	西	0	0	0
100	上之郷	1	1	2
101	益津	0	0	0
102	小牧	1	2	3
103	府内	1	3	4
104	東肥	3	6	9
105	都	2	3	5
106	西成	0	0	0
107	南	3	5	8
108	山陰	3	2	5
109	鹿島	4	4	8
110	此花	4	2	6
111	仙臺	1	5	6
112	東海	2	1	3
113	大島	1	3	4
114	古市	0	2	2
115	神崎	0	2	2
116	甲府	5	4	9
117	本保	3	0	3
118	本愛	4	5	9
119	本芝	5	8	13
120	山國	1	0	1
121	京城	2	3	5
122	東神田	5	3	8
123	北洋	0	3	3
124	宇佐	0	0	0
125	岡山	5	3	8
126	泉	2	0	2
127	東中央	1	1	2
128	城山	0	4	4
129	静岡	0	0	0
130	白羽	1	2	3
131	伊那	0	1	1
132	小南部	0	2	2
133	雨龍	0	0	0
134	愛静	0	2	2

番号	直属	男	女	合計
135	紀陽	0	3	3
136	大垣	1	0	1
137	鎮西	3	0	3
138	生駒	6	3	9
139	中背	5	0	5
140	高松	8	3	11
141	五條	0	1	1
142	沼津	0	1	1
143	網干	2	1	3
144	宇仁	2	0	2
145	双名島	0	0	0
146	夕張	1	1	2
147	山陽	3	2	5
148	本荏	0	5	5
149	国名	0	0	0
150	玉島	6	7	13
151	網走	0	0	0
152	松阪	2	4	6
153	越知	1	1	2
154	本理世	28	37	65
155	加古	0	0	0
156	秋津	2	1	3
157	幅下	2	2	4
158	亀岡	1	2	3
159	大原	0	2	2

番号	直属	男	女	合計
502	尾道	1	0	1
503	淀	2	0	2
508	琵琶	1	0	1
510	鐸姫	0	1	1
511	上町	0	1	1
514	豊繁	1	0	1
515	名張	0	1	1
516	玉江	1	0	1
518	浪華	2	2	4
539	生琉里	0	2	2
540	安東	1	0	1
546	やまとよふき	1	1	2
548	治文	1	0	1
549	大和御幸	0	1	1
555	大阪	0	1	1
557	上野前橋	1	1	2
567	尾張	0	1	1

第28回 女子青年大会 ご案内

本年、8月末から12月中旬にかけて各地域において「第28回女子青年大会」が開催されます。この大会に向けては、まず教会へ足を運び、日々にご守護くださる親神様、ご存命でお導きくださる教祖にお礼を申し上げることを心掛け、大会を通してできた仲間とともに、大会後も近くの教会に足を運んで信仰的な成人をしっかりと目指していただきたいという思いから各地域での開催となりました。学生層の女子青年に大会そして女子青年活動への参加をお声がけくださいますようお願い致します。

尚、大会の詳細は婦人会のホームページにてご確認ください。



立教百七十九年 天理教学生会 夏期リーダーの集い 開催報告

八月六日から八日にかけて、旧大森町詰所を会場に「立教百七十九年天理教学生会夏期リーダーの集い」を開催しました。教区・直属の学生リーダー層を対象とした今回の集いには、四十名の学生スタッフに合わせて、三十教区・十三直属から九十四名の学生が参加しました。

初日は、東講堂でウォーミングアップを行い全体の雰囲気が出た後に、今回の「夏期リーダーの集い」の趣旨説明が行われました。

二日目の午前中には、班に分かれて、今期の活動方針の内容を再確認し、具体的にどのように実践していくかについてねりあいました。その後「親神様のご守

護」「かしのもの・かりもの」の教理を学びました。午後からは境内地にて勇んでひのきしんに励みました。そして夕方から全体で集まり、九月に控えた「道の学生ひのきしんDAY」、さらに「立教百八十年 春の学生おぢばがえり」に対する思いを中村委員長が話し、動員に向けて話し合いの場が持たれました。

三日目には、ブロックごとに分かれて前日の中村委員長の話に対する質疑応答を行いました。その後、立場別で班を編成し、「道の学生ひのきしんDAY」「立教百八十年 春の学生おぢばがえり」に向かつてできることを話し合いました。最後に、三日間を通して学んだことに

ついて班でふりかえり、今回の「夏期リーダーの集い」で学んだこと、感じたことを地域に持ち帰って、それぞれの教区や直属の学生会員に伝え、より一層充実した学生会、学生活動を行うことを誓い合いました。



立教179年 9月19日（祝）
道の学生ひのきしんDAY 開催会場一覧

教区／支部・ブロック	開催場所（雨天）	集合同所（雨天）	集合時間（雨天）
大阪 中央天浪支部	大阪城公園	JR森ノ宮駅	11：30
中央西支部	靱公園（飾大分教会）	飾大分教会	13：00
生野南支部	巽東緑地（大巽分教会）	大巽分教会	10：00
生野北支部	平野公園（天佑分教会）	JR平野駅（同左）	13：30
東成支部	大阪城公園	JR森ノ宮駅	11：30
城東支部	京橋駅～仁喜福分教会（城東商店街）	京橋駅（地下鉄蒲生四丁目駅）	13：00
旭都支部	京橋駅付近	地下鉄都島駅	9：30
阿倍野支部	天王寺から天正分教会（天正分教会）	スターバックスあべのHoop店（近鉄河堀口駅）	10：00（11：00）
東住吉支部	長居公園	JR鶴ヶ丘駅	9：45
平野支部	平野公園（天佑分教会）	JR平野駅（同左）	13：30
西成支部	地下鉄岸里駅周辺（五百阪分教会周辺）	西成区役所南側（五百阪分教会）	7：30（8：00）
東淀川支部	淀川河川公園～豊里地区	菅原城北大橋橋下・淀川河川公園	9/11 8：30
新淀川支部	児童養護施設「博愛社」	同左	9：30
淀川支部	淀川河川敷（日香阪分教会）	JR塚本駅	13：00
福島支部	淀川河川敷（紀陽大宝分教会）	地下鉄野田阪神駅前	15：00
布施南支部	史跡高井田横穴公園	同左	13：50
布施北支部	史跡高井田横穴公園	同左	13：50
堺北支部	南海電鉄堺東駅	同左	13：00
堺南支部	泉北高速鉄道榎・美木多駅	西原公園	9：00
和泉支部	JR和泉府中駅	JR和泉府中駅前	9：30
岸和田支部	南海電鉄岸和田駅	同左	9：00
泉陽支部	りんくう公園	同左	10：00
中河内支部	八尾、柏原市内の道路（泉河分教会）	JR志紀駅（近鉄法善寺駅）	12：30
河枚支部	東大阪市花園ラグビー場	近鉄東花園駅	10：45
南河内支部	石川河川敷（芦原分教会）	近鉄汐ノ宮駅	10：00
北河内支部	浪富分教会	京阪電鉄寝屋川市駅	9：30
阪南支部	近鉄河内松原駅～近鉄高見ノ里駅	近鉄河内松原駅	9：20
京阪支部	浪富分教会	京阪電鉄寝屋川市駅	9：30
三島支部	JR茨木駅周辺	JR茨木駅	11：00
豊能支部	猪名川運動公園	阪急電鉄池田駅改札口	13：00
兵庫 阪神ブロック	阪神甲子園球場周辺	阪神電鉄甲子園駅前	10：30
丹播ブロック	JR西脇市駅周辺	JR西脇市駅	9/3 11：30
神戸ブロック	ミント神戸15献血ルーム	JR三ノ宮駅南側ロータリー	13：00
西播ブロック	的形海水浴場周辺	山陽電鉄的形駅	13：00
和歌山	紀陽大教会	同左	10：00
島根	キララビーチ	道の駅キララ多伎	9/18 10：00
鳥取	お台場公園（教務支庁）	教務支庁	9：00
岡山	旭川児童院	教務支庁	9：30
広島 東部・中部ブロック	福山城（福山分教会）	福山分教会	9：00
北部・西部ブロック	教務支庁	同左	9：00
山口	秋穂日地海岸	周海分教会	10：00
高知	種崎海岸（高知大教会）	高知大教会	10：00
徳島	教務支庁～JR徳島駅	教務支庁	10：00
香川	ジャンボフェリー高松のりば	教務支庁	9/17 9：30
福岡	福浜海岸（教務支庁）	教務支庁	10：00
佐賀 九州ブロック	虹の松原海岸（JR佐賀駅）	9：30（10：00）教務支庁 11：00 虹の松原ホテル前駐車場	
長崎	JR西諫早駅周辺（教務支庁）	教務支庁	10：00
熊本	熊本市中心街	辛島公園	9：30
宮崎	サンビーチ ーツ葉（日向司分教会、教務支庁）	教務支庁	10：00
鹿児島 鹿児島支部	教務支庁	同左	9/10 10：00
大島支部	大島分教会	同左	9/10 16：00
おやさと	天理市内	天理大学4階講堂	9：30

※時間・場所は8月9日現在のものです。
「道の学生ひのきしんDAY」に関するお問い合わせは、各教区学生担当委員会
か学生会、または天理教学生会（TEL:0743-63-1511 内線 5820）まで。
※最新情報は「TSA website」で公開しています。http://tsa.tenrikyo.or.jp



テーマ
感謝して、身近な友とつながろう！

※（ ）内の表記は雨天時の場所となっております。

デジタルフライヤー利用のご案内

日々は学生層育成の上にご丹精くださり、誠にありがとうございます。

学生担当委員会では「まなびば」の啓蒙を図る上から、教区ごとの「まなびば」開催要項に沿ったものを対象となる高校生の手元に届けられるようにと、デジタルフライヤー（※）を作成しております。広報の上どうぞご活用下さい。

※フライヤーやチラシをデータ化し、スマートフォン等で見られるようにしたもの。

【デジタルフライヤーの受取方法】

①教区ごとの「まなびば」の情報をデジタルフライヤー作成届に記載し、用紙かFAXで事務局に提出

※デジタルフライヤー作成届はTSA web siteでダウンロードいただけます。また、事務局でも配布しております。

②事務局でデジタルフライヤーの作成

③希望のメールアドレスへデータを送信

※右図のようなメール添付用のフライヤーデータを送信させていただきます。

④手元にデジタルフライヤーが届く



↑【デジタルフライヤーイメージ図】

※高校生へは、担当者からお送りいただきますようお願いいたします。

Happist10月号 予告

〔特集〕学生生徒修養会 高校の部

夏空の軌跡

※内容は一部変更になる場合があります。

連載

・教理コーナー
明日を展くをやの言葉 佐藤 浩司（天理大学名誉教授）

・信仰エッセー
明日の地図ひろげて 和田 与志男（北海道教区前学生担当委員長）

・マンガ
空色カレイドスコープ ニシカワヨウコ



明日につながる学生マガジン

個人宅に直接「Happist」が届く個人購読も行っております。詳細は学生担当委員会事務局までお問い合わせください。

「まなびば」開催会場一覧 《9月開催分》

教区	開催日時	場所	担当者	電話番号
愛知 ※東西三河ブロック	9月3日12時45分 ～4日14時30分	愛静大教会	鈴木	
静岡	9月10日13時 ～11日14時30分	浜石青少年 野外センター	桑高	
愛知 ※南部・知多ブロック	9月10日8時30分 ～11日18時	愛知詰所	速水	
秋田	9月17日13時～18日14時	田沢湖かたまえ山 森林公園キャンプ場	鈴木	
青森	9月17日13時～18日12時	教務支庁	石田	
愛媛	9月18日13時～19日12時	教務支庁/ 石手川緑地公園	酒井	
愛知 ※北部ブロック	9月24日13時～25日14時	大高緑地公園	吉田	

☆実施計画書は2ヵ月前までにご提出ください。

青空

学生時代、学生会の行事には全く参加してこなかった私が、学生担当委員会に配属が決まってから三年半、早くも勤務を終えることになりました。今、振り返って思うことは、学担のご用を通して、お道から離れてしまいそうだった私の心をつないでいただけたということです。

大学時代は勝手気ままな生活をしており、自分の中から信仰というものが、薄れていくように感じていました。しかし、学担のご用で日々忙しい中を通していただくことで、自分のために使う時間が減りました。急に心が変わったということはありませんでしたが、今までと比べ密度の濃い時間、お道と関わることで、大教会や教会のことに目を向けることがだんだんとできるようになりました。

そのような気持ちにしていたいたことに感謝し、これからお道と関わる機会を設けて、決して離れることのないよう心がけていきます。

担当者活動部局員 濱本大嗣